2026年5月15日

各　　位

会 社 名　　ダイジェット工業株式会社
代表者名　　代表取締役社長　生悦住　歩
（コード番号 6138　東証スタンダード市場）
問合せ先　　取締役　安藤　信夫
ＴＥＬ　　06－6791－6781

冨士ダイス株式会社との業務提携の検討開始に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、冨士ダイス株式会社（以下、「冨士ダイス」という。）との間におきまして、重要鉱物であるタングステンとコバルトの使用量を削減した合金に関する業務提携（以下、「本提携」という。）の検討を開始することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

１．本提携の検討開始の目的

当社と冨士ダイスは、超硬工具・金型の製造販売を手掛け、ともに長きにわたり、世界のものづくりを支えてまいりました。しかしながら、超硬合金の主原料であるタングステンは、昨年２月に中国政府による輸出管理の対象となり、その結果、タングステンの供給に懸念が生じる事態となり、価格についても過去に例のない高騰が続いております。

当社では、中国によるタングステンの輸出管理の開始以来、お取引先様に向けて超硬合金および超硬工具・金型の安定供給が継続できるよう、原料リサイクルや製品の絞り込み等の施策により、限りある重要鉱物を有効活用する取り組みを進めております。

また、当社はかねてより、耐摩耗工具向けに脱タングステンをテーマとした新合金の開発に取り組んでおり、2010 年にはタングステンとコバルトを含まない合金「サーメタル」を開発・販売しております。

このような状況のなか、脱タングステンは、業界全体の課題でもあり、当社としても改めて優先順位を上げて取り組むべきと考えていたところ、当社と同様にタングステンとコバルトを減らした新合金の開発に取り組んでいた冨士ダイスとの間で方針が一致し、業務提携の検討を開始することといたしました。本提携により、互いの強みとリソースを最大限に活用することで、地政学的リスクを低減し、収益拡大を図るとともに、持続的な成長を実現することで、相互の企業価値向上を目指します。

２．本提携の検討内容

当社と冨士ダイスは、各々が開発した、重要鉱物であるタングステンとコバルトの使用量を削減した合金に関して、両社の販売ネットワークを活用した販路拡大に向けた検討を開始する予定です。

３．本提携の相手先の概要

（１） 名　　称	冨士ダイス株式会社
（２） 所 在 地	東京都大田区下丸子 2-17-10
（３） 代表者の役職・氏名	代表取締役社長　春田　善和
（４） 事 業 内 容	超硬合金製の耐摩耗工具・金型の製造販売
（５） 資 本 金	1 億 6,400 万円
（６） 設 立 年 月 日	1949 年 6 月

４．今後の見通し

本提携による 2027 年３月期の当社業績への影響については、今後の提携検討の進捗に応じて、適時開示基準に則り、適時適切に開示いたします。

以　上